

本資料に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。  
また一部資料については前 2 社に加え全国農業共同組合連合会(全農)が同様の権利及び責任を有する。

## 農 薬 抄 録

一般名:アセフェート

(殺虫剤)

---

(作成年月日)      平成11年11月  
                         平成12年 4月 改訂  
                         平成13年10月 改訂  
                         平成14年 8月 改訂  
                         平成20年 4月 改訂  
                         平成20年 6月 改訂  
                         平成21年 3月 改訂  
                         平成21年 6月 改訂  
                         平成21年 8月 改訂  
                         平成22年 8月 改訂  
                         平成24年 7月 改訂  
                         平成27年 1月 改訂

(作成会社名)      丸紅株式会社

(作成責任者・所属)

本資料に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。  
 また一部資料については前 2 社に加え全国農業共同組合連合会(全農)が同様の権利及び責任を有する。

## 目 次

	頁
I 開発の経緯	3
II 物理的・化学的性状	5
III 生物活性	18
IV 適用及び使用上の注意	19
V 農薬残留性及び環境中予測濃度算定関係	27
VI 有用動植物等に及ぼす影響	110
VII 使用時安全上の注意、解毒方法等	128
VIII 毒性	毒 1
1. 原体	毒 8
(1) 急性毒性	毒 8
(2) 皮膚及び眼に対する刺激性	毒 17
(3) 皮膚感作性	毒 19
(4) 急性神経毒性	毒 21
(5) 急性遅発性神経毒性	毒 24
(6) 90日間反復経口投与毒性	毒 28
(7) 21日間反復経皮投与毒性	毒 43
(8) 90日間反復吸入毒性	毒 44
(9) 反復経口投与神経毒性	毒 45
(10) 28日間反復投与遅発性神経毒性	毒 54
(11) 1年間反復経口毒性及び発がん性	毒 55
(12) 繁殖毒性及び発生毒性	毒 83
(13) 変異原性	毒 107
(14) 生体機能影響	毒 115
(15) その他	毒 121
2. 原体混在物及び代謝物	毒 126
3. 製剤	毒 149
IX 動植物及び土壌等における代謝分解	代 1
(附) アセフェートの開発年表	代 90

本資料に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。  
また一部資料については前 2 社に加え全国農業共同組合連合会(全農)が同様の権利及び責任を有する。

## I 開発の経緯

### 1. 発見の経緯及び開発の経過

アセフェートは米国シェブロン社により発見、開発された低毒性の有機リン系の殺虫剤で、現在世界数十カ国で販売されている。日本では1973年に登録され、30年以上にわたり主として野菜、柑橘、花き類等の害虫防除に広く使用されている。本剤のように低毒性で残留性が少ない農薬は、人畜及び環境に対してより安全な農薬を要望する社会の要求に合い、剤型としては水和剤と粒剤があるが、各々年間にピーク時で700トン及び約7000トンが販売・使用されていると推測されるが、有機リン剤に対する抵抗性害虫の出現、競合薬剤の出現等、特にポジティブリスト制導入によるドリフトの問題等により近年は使用量が減少傾向にある。

一方、我が国の食糧自給率が低下を続けていることから、農家経営の改善が緊急の課題となっている。その中で農業生産資材の低減が一つの政策として取り上げられている。今回、中華民国(台湾)のSinon Corporation(興農株式会社)、全国農業協同組合連合会(全農)との共同開発により、使用者により安価な薬剤を提供することが可能になり1995年以来開発を進めて来た。使用者の混乱を防止するために、剤の有効成分含量及び使用方法を先行アセフェート剤と統一することが要望されたが、有効成分の物理化学的性状から及び生産物の薬液による汚れを考慮し、水和剤よりも水溶剤がより適しているために50%水溶剤と5%粒剤とした。

2003年10月にジェネレート粒剤(ジェイエース粒剤、興農ジェネレート粒剤)が、同年12月にジェネレート水溶剤(ジェイエース水溶剤、興農ジェネレート水溶剤)が登録され、更に2006年にはスミフェート粒剤及びスミフェート水溶剤が登録された。

### 2. 諸外国での開発・登録・使用状況、安全性等

本資料に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び **Sinon Corporation** にある。  
また一部資料については前 2 社に加え全国農業共同組合連合会(全農)が同様の権利及び責任を有する。

)

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

## II 物理的・化学的性状

### 1. 有効成分の名称及び化学構造

- 1) 一般名  
アセフェート  
acephate (ISO名)
- 2) 別名  
商品名 : ジェネレート水溶剤、「興農」ジェネレート水溶剤、ジェイエース水溶剤、  
スミフェート水溶剤  
ジェネレート粒剤、「興農」ジェネレート粒剤、ジェイエース粒剤、  
スミフェート粒剤  
試験名 : MBI-951 SP、MBI-951 5G、GDI-001
- 3) 化学名  
和名 : O,S-ジメチル-N-アセチルホスホロアミドチオエート(MAFF)  
O,S-ジメチル=アセチルホスホロアミドチオア-ト(IUPAC, CAS)  
英名 : O,S-dimethyl-N-acetylphosphoramidothioate (MAFF)  
O,S-dimetyl acetylphosphoramidothioate (IUPAC, CAS)
- 4) 構造式  
$$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{CH}_3\text{O}-\text{P}-\text{NH}-\text{COCH}_3 \\ \text{CH}_3\text{S} \end{array}$$
- 5) 分子式  
C<sub>4</sub>H<sub>10</sub>NO<sub>3</sub>PS
- 6) 分子量  
183.17
- 7) CAS登録番号  
30560-19-1

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

2. 有効成分の物理的・化学的性状

項目	資料番号	結果	方法	試験機関(報告年) GLP 適用	
色調	物 1	白色 (9.5N)	官能法、 EPA540/9-82-018	Springborn Lab.(1995) GLP	
形状	物 1	粉末	官能法、 EPA540/9-82-018	Springborn Lab.(1995) GLP	
臭気	物 1	イオウ臭	ASTM、 EPA 540/9-82-018	Springborn Lab.(1995) GLP	
密度	物 2	1.321g/mL (25°C)	ピクノメーター法	Sinon Corp. (1999)	
融点	物 3	90.0±0.0°C	キャピラリー法	Springborn Lab.(1995) GLP	
沸点	物 4	161.4±0.3°C (101.7 kPa)	Siwolboff 法	Springborn Lab.(1996) GLP	
蒸気圧	物 5	1.62 × 10 <sup>-5</sup> Pa (21.6°C)	気体飽和法	Springborn Lab.(1995) GLP	
解離定数	物 6	pKa : 8.14 (25°C)	滴定法	Sinon Corp. (1999)	
溶解度	水	物 7	727±5 g/L(20°C、pH2.5)	フラスコ振とう法	Springborn Lab.(1995) GLP
	有機溶媒	n-ヘプタン	0.030 g/L (25.3-25.8°C)		
		o-キシレン	2.68 g/L (25.3-25.8°C)		
		メタノール	397 g/L (25.3-25.8°C)		
		アセトン	119 g/L (25.3-25.8°C)		
		酢酸エチル	38.8 g/L (25.3-25.8°C)		
		1,2-ジクロロエタン	158 g/L (25.3-25.8°C)		
オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	物 9	-0.859 (25.1°C)	フラスコ振とう法	Springborn Lab.(1995) GLP	
土壌吸着係数	6 **	K <sub>F</sub> <sup>ads</sup> <sub>oc</sub> : 3.77~21.4 (25±2°C)	OECD 106	化学分析コンサルタント (1999)	
加水分解性*	9 **	DT <sub>50</sub> : 492 日 (pH4、20°C) DT <sub>50</sub> : 560 日 (pH7、20°C) DT <sub>50</sub> : 68 日 (pH9、20°C)	EEC C7	Covance Lab. (1999) GLP	
水中光分解	緩衝液 (滅菌水)*	8 **	DT <sub>50</sub> : 98 日 (25°C)	OECD 94/37/EC	Covance Lab. (1998) GLP
	自然水	7-1 **	DT <sub>50</sub> : 20 日 (23.3~27.0°C)	農林水産省	全農・営農技術センター(2000)
	自然水	7-2**	DT <sub>50</sub> : 4.72 日 (25±2°C)	農林水産省	Safeparm Laboratories Limt. (2006) GLP
	純水		DT <sub>50</sub> : 21.9 日 (25±2°C)		
熱安定性	物 10	179.8°Cで分解	TGA 法	Sinon Corp.(1999)	
UV、IR、NMR、Mass のスペクトル	物 11~ 13	別頁		Sinon Corp.(1999)	
生物濃縮性試験	—	提出除外 (n-オクタノール/水分配係数が 3.5 未満のため)			

注)\*:運命試験の一部として実施。 \*\*:資料番号は抄録中の資料番号。



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

(参考) 代謝物. の物理的・化学的性状

化学名 :

構造式 ;



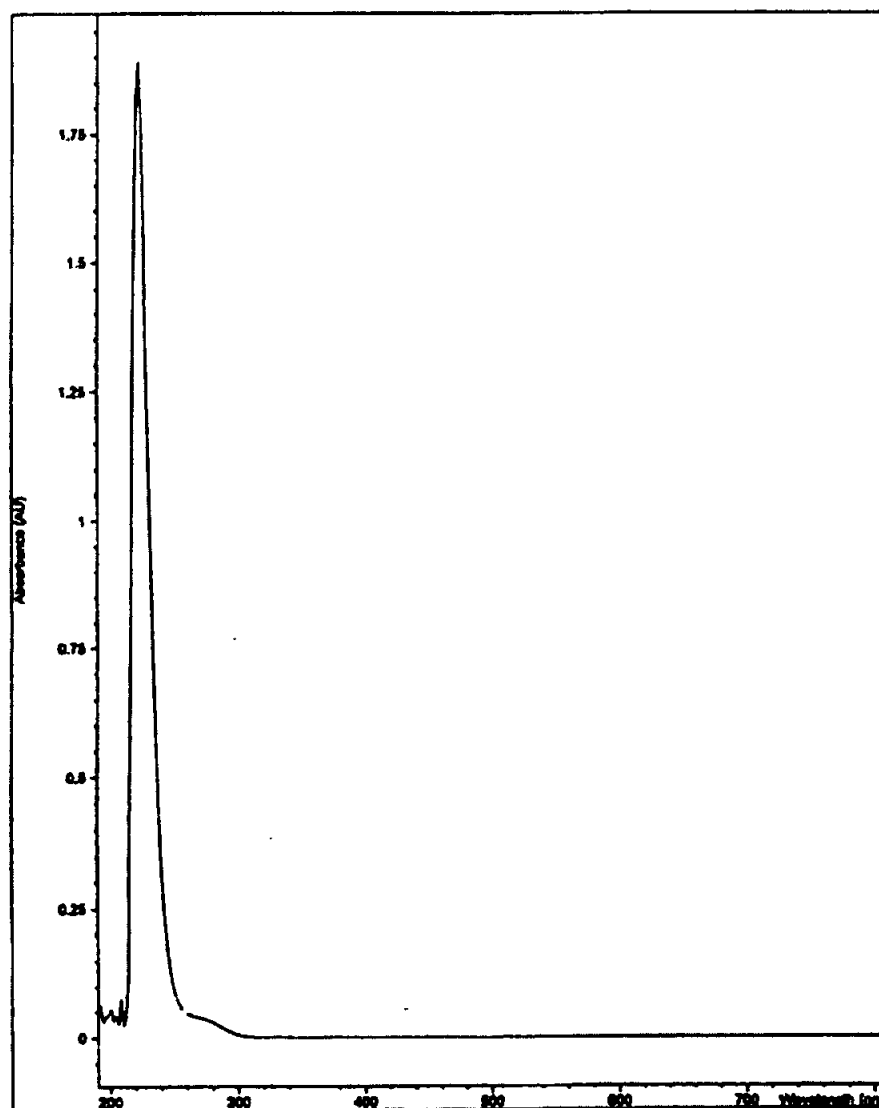
本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

4) UV、可視、赤外等のスペクトル

①アセフェートのUVスペクトル

i. pH > 10(12.87) 緩衝液中

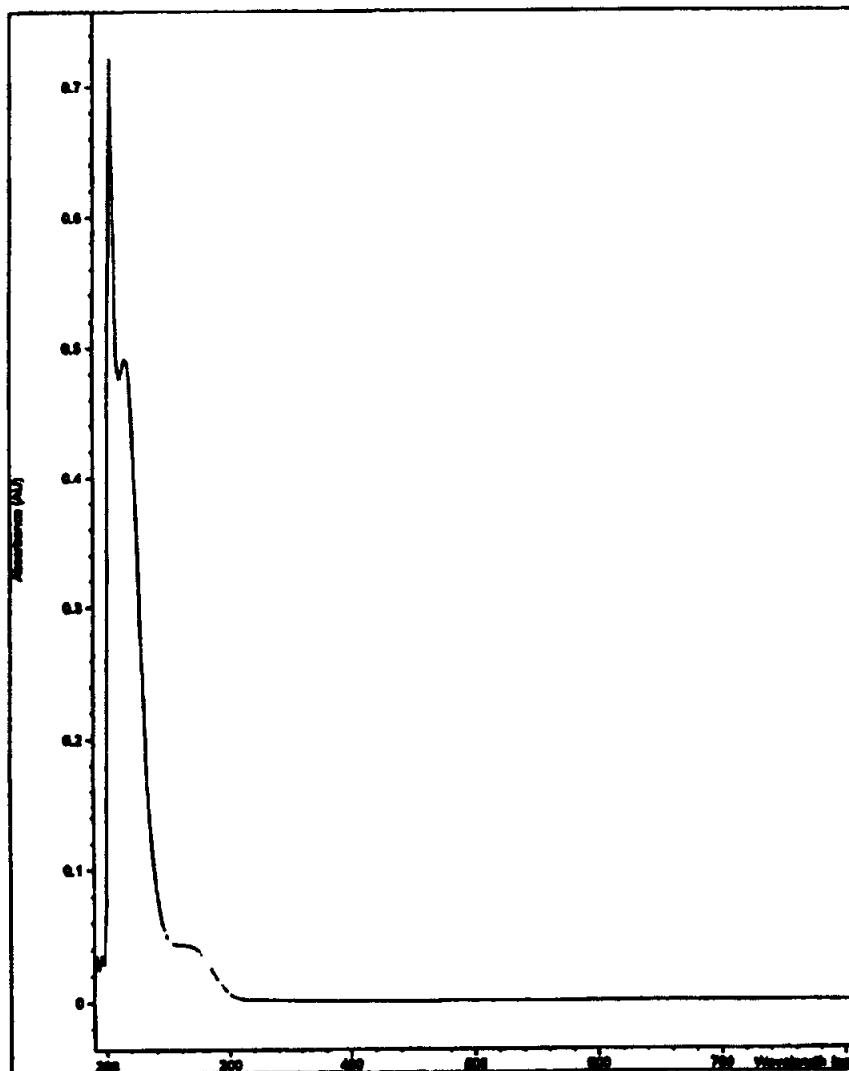
検 体	アセフェート原体(ロット番号8071)
測定年月日	1999年5月19日～21日(試験期間)
実施場所	Sinon Corporation
測定装置	Hewlett Packard シングルビーム UV/VIS分光光度計
測定温度	25±1℃
極大吸収波長	202nm及び266nm
モル吸光係数	1.58×10 <sup>3</sup> ±63.6(202nm)



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

ii. pH <2 (0.93) 緩衝液中

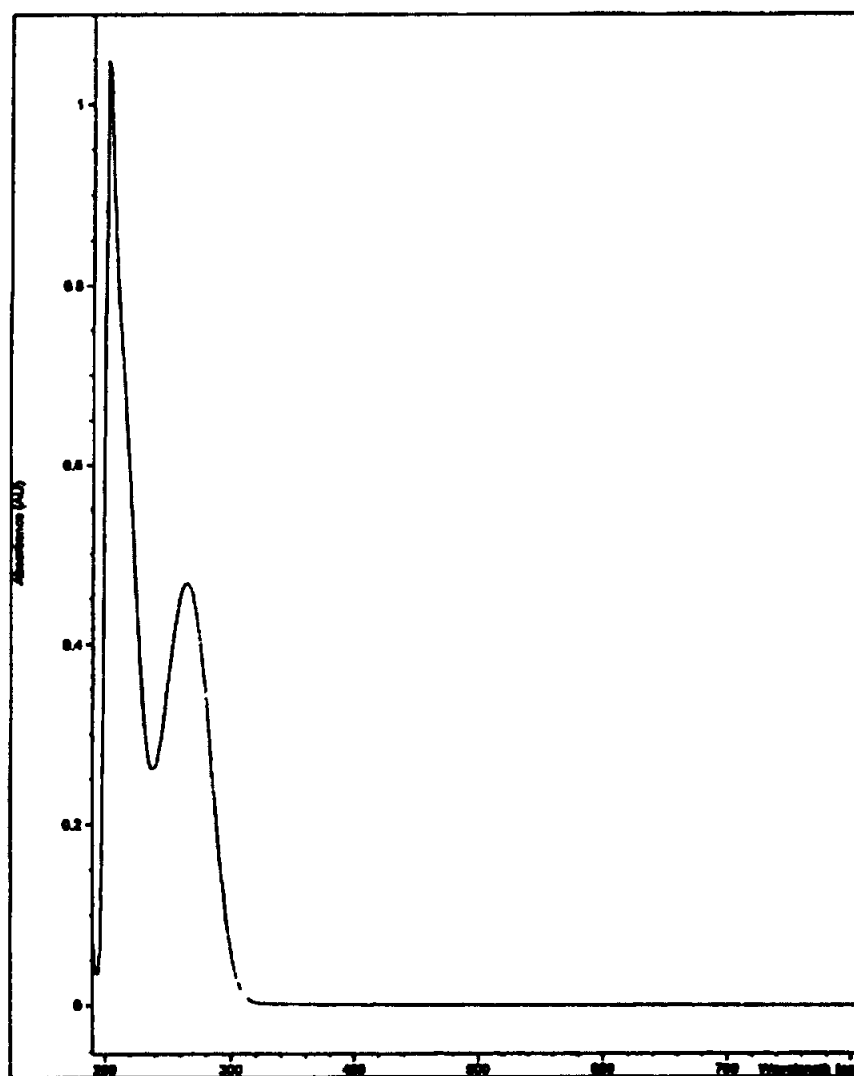
検 体	アセフェート原体(ロット番号8071)
測定年月日	1999年5月19日～21日(試験期間)
実施場所	Sinon Corporation
測定装置	Hewlett Packard シングルビーム UV/VIS分光光度計
測定温度	25±1℃
極大吸収波長	204nm及び216nm
モル吸光係数	1.04×10 <sup>3</sup> ±42.4(204nm)



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

iii. pH 7.08 緩衝液中

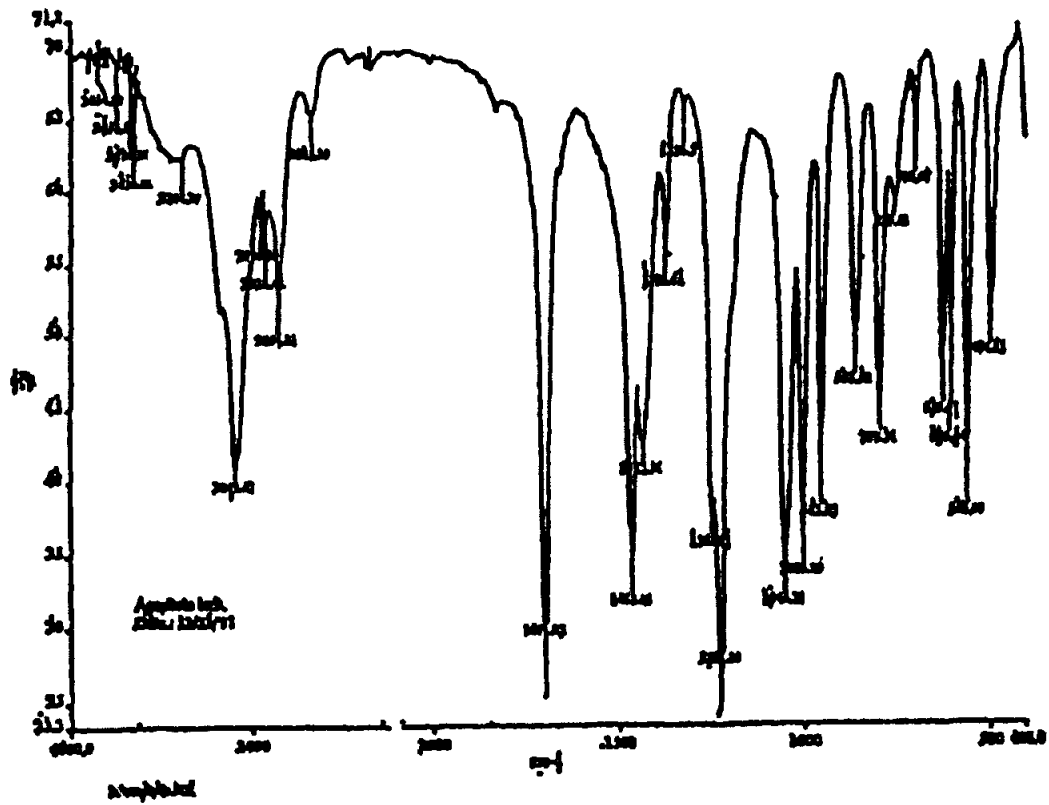
検体	アセフェート原体(ロット番号8071)
測定年月日	1999年5月19日～21日(試験期間)
実施場所	Sinon Corporation
測定装置	Hewlett Packard シングルビーム UV/VIS分光光度計
測定温度	25±1℃
極大吸収波長	222nm
モル吸光係数	2.74×10 <sup>3</sup> ±49.5 (222nm)



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

② アセフェートの赤外スペクトル

検 体            アセフェート原体(ロット番号8071)  
 測定年月日      1998年12月28日  
 実施場所        Sinon Corporation  
 測定装置        Nicolet Impact 410 FTIR  
 測定温度        24℃  
 極大吸収波長    1224 cm<sup>-1</sup>

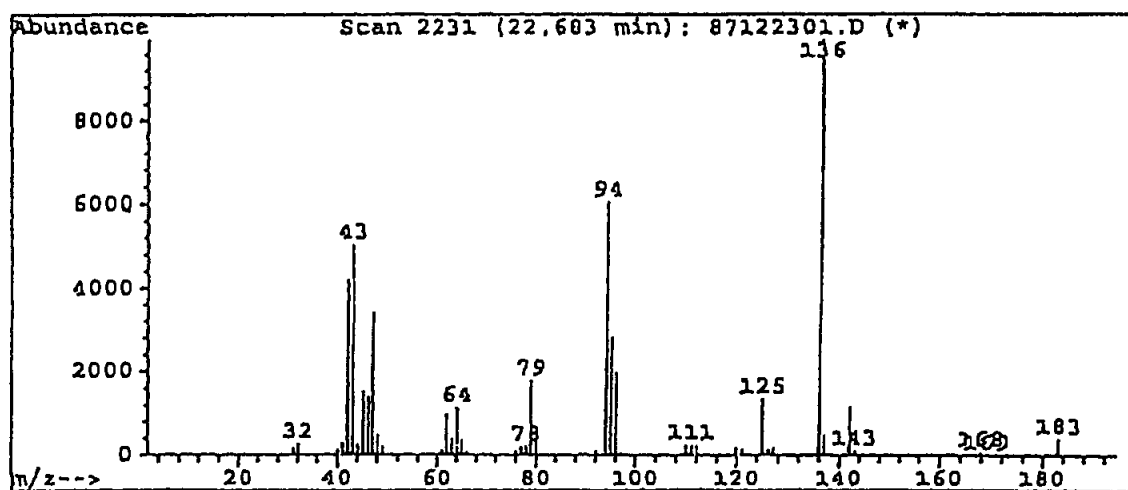
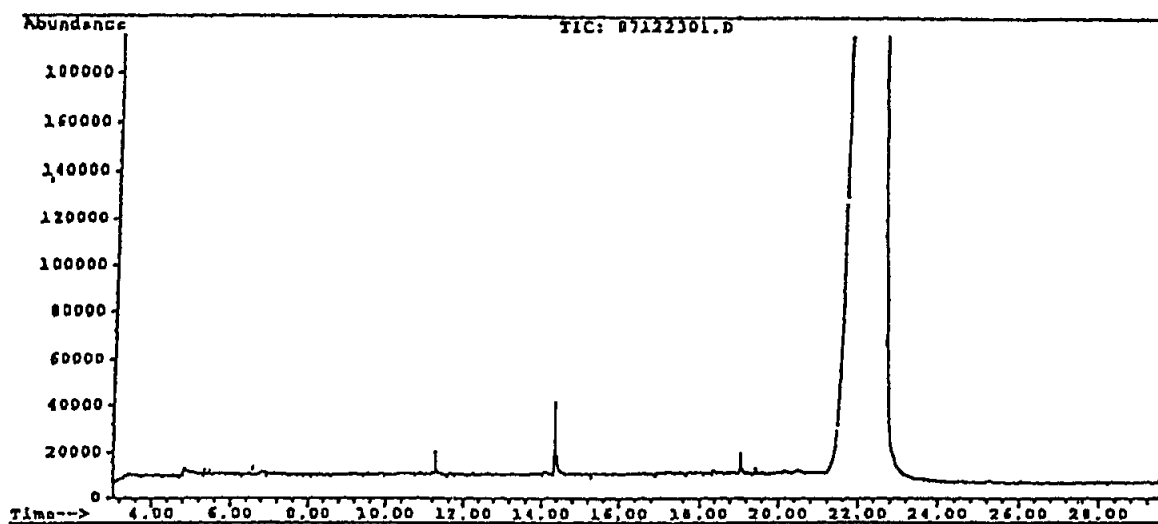


吸収波長	同定される骨格
3384 cm <sup>-1</sup> 近辺	非対称及び対称のN-H伸縮
3087~2851 cm <sup>-1</sup>	C-H伸縮
1698 cm <sup>-1</sup>	C=O伸縮
1462及び1433 cm <sup>-1</sup>	C-H屈折
1223 cm <sup>-1</sup>	P=O伸縮振動
1048及び1002 cm <sup>-1</sup>	P-O-CH <sub>3</sub> 伸縮振動
799 cm <sup>-1</sup>	P-S-CH <sub>3</sub> 伸縮

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

③ アセフェートのGC/MSマスペクトル

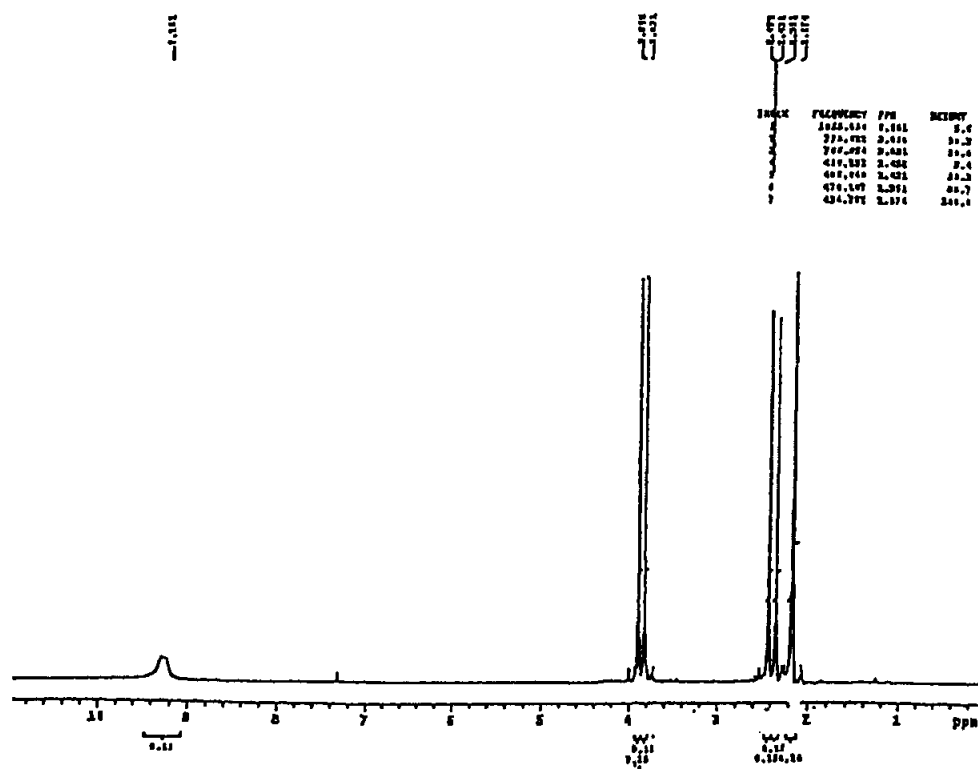
検 体	アセフェート原体(ロット番号8071)
測定年月日	1998年12月28日
実施場所	Sinon Corporation
測定装置	Hewlett Packard model 5890 Series II
検出器	Hewlett Packard model 5972 mass selective detector



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

④アセフェートの<sup>1</sup>HNMRスペクトル

検 体                    アセフェート原体(ロット番号8071)  
 測定年月日            1998年12月28日  
 実施場所              Sinon Corporation  
 測定装置              Varian Mercury 300 NMR



化学シフト (δ, ppm)	H position
2.174 (s, 3H)	C(:O)·CH <sub>3</sub>
2.442(d, J <sub>HP</sub> =6.3, 3H)	P-S-CH <sub>3</sub>
3.865(d, J <sub>HP</sub> =20.1, 3H)	P-O-CH <sub>3</sub>
9.281(br, s, 1H)	P-NH-C(:O)·

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

⑤アセフェートの<sup>13</sup>CNMRスペクトル

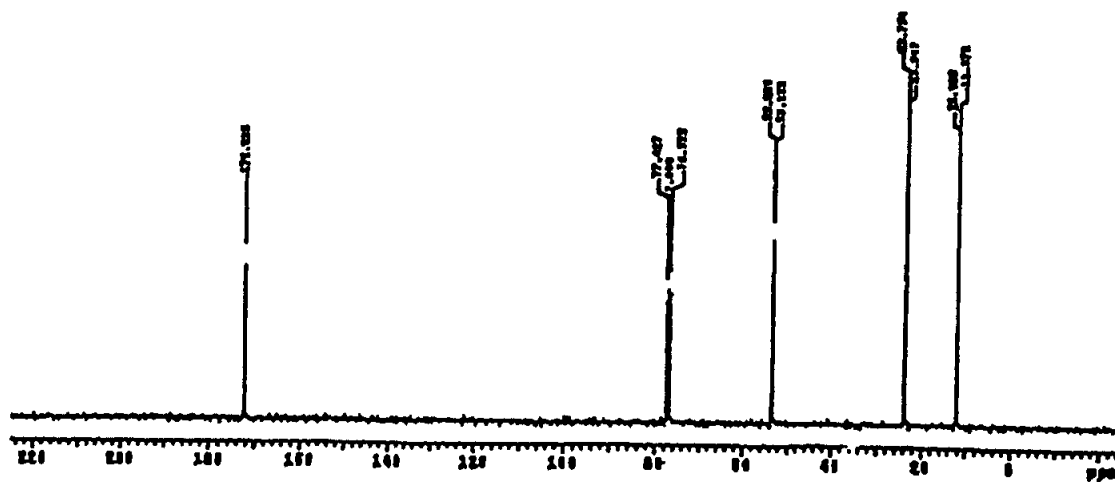
検 体 アセフェート原体(ロット番号8071)

測定年月日 1999年6月10日

実施場所Sinon Corporation

測定装置Varian Mercury 200 NMR

Acetate 870  
 Pulse Sequence: zgpg30  
 Solvent: CDCl3  
 Acquisition Temperature: 300.2 K  
 Frequency: 125.761 MHz  
 Nucleus: 13C  
 Relaxation Delay: 2.00 sec  
 Acquisition Time: 00:01:00  
 F2 (MHz): 125.761  
 F1 (MHz): 125.761  
 F2 (ppm): 101.625  
 F1 (ppm): 101.625  
 File Name: 8071\_01.f2



化学シフト (δ, ppm)	C position
10.9	P-S-CH <sub>3</sub>
22.7	NH-C(:O)-CH <sub>3</sub>
52.3	P-O-CH <sub>3</sub>
171.0	NH-C(:O)-CH <sub>3</sub>

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

3. 原体の成分組成

区分	名称		構造式	分子式 分子量	含有量	
	一般名	化学名			規格値	通常値又はレンジ
有効成分	アセフェート	O,S-ジメチル-N-アセチルホスホ ロアミドチオエート(MAFF)	$  \begin{array}{c}  \text{O} \\  \parallel \\  \text{CH}_3\text{O} \text{---} \text{P} \text{---} \text{NH} \text{---} \text{COCH}_3 \\  \text{CH}_3\text{S} \text{---}  \end{array}  $	C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> NO <sub>3</sub> PS 183.17		

注: 一般名の下に数字はCAS登録番号を示す  
じ



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

#### 4. 製剤の組成

##### 1) 50 % 水溶剤

アセフェート	50.0%
--------	-------

界面活性剤等	50.0%
--------	-------

##### 2) 5%粒剤

アセフェート	5.0
--------	-----

鉍物質微粉等	95.0%
--------	-------

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社及び Sinon Corporation にある。

### Ⅲ. 生物活性

#### 1. 活性の範囲

アセフェートの殺虫スペクトラムは広く、半翅目、鱗翅目、直翅目、甲虫目等の多汎性の害虫に卓効を示す。従って対象作物も野菜類、果樹、花き類、芝等の多種類の作物群にわたっている。一時話題になっている野菜類のオオタバコガ、マメハモグリバエ或いはミカンキイロアザミウマ等にも効果があることが確認されて登録されている。一方ではコナガ、アブラムシ類等の有機リン系殺虫剤に対する抵抗性の発現により地域により効果の低下が認められる場合もある。代謝物の1つであるメタミドホスは、親化合物と同様な活性範囲を持つ物質で、米国を始め諸外国で殺虫剤として登録されている。しかし、本抄録にも記載したごとく、メタミドホスは主に土壌中で代謝分解され、根部から吸収されて茎葉部へ移行すると考えられ、茎葉中には量的にも少なく、代謝物としてのメタミドホス自体が殺虫効果を発現するとは考えられない。

#### 2. 作用機構

アセフェートは水溶解度が高く、根部及び茎葉部の双方から植物体内に浸透移行し、殺虫効果を示す。作用性は他の有機リン系殺虫剤と同様アセチルコリンエステラーゼ阻害により効果を現す。

#### 3. 作用特性と防除上の利点等

殺虫スペクトラムが広く水溶性も高く、植物体内への浸透移行が容易なため、水溶剤、粒剤を問わず茎葉散布により広範囲の害虫の防除が期待出来る。一部の作物の幼苗期を除いて殆ど薬害はなく安心して使用できる殺虫剤である。残効性はこれまでの知見から対象作物及び対象害虫により異なるが、約2～3週間くらいである。土壌中での半減期は1～3日で環境に対しても安全な薬剤である。

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

IV. 適用及び使用上の注意

1. 適用病害虫の範囲及び使用方法

① アセフェート50%水溶剤 (ジェネレート水溶剤、ジェイエース水溶剤、スミフェート水溶剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
かき	カキクダアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキノハタムシガ	1500倍	200～700 L/10a	収穫45日前 まで	2回以内	散布	2回以内	
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメコバハイ	1500～ 2000倍		収穫60日前 まで			1回	1回
いちじく	アザミウマ類	2000倍		収穫45日前 まで				
キャベツ	ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類 タマナギンウワハ	1000～1500倍	100～300 L/10a	収穫30日前 まで	1回		2回以内 (定植時までの処 理は1回以内、定 植後の散布は1回 以内)	
はくさい	ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1500倍					3回以内	1回
レタス 非結球レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～1500倍						
カリフラワー	ヨトウムシ	1000倍	収穫14日前 まで	1回	3回以内			
チンゲンサイ みずな	アブラムシ類	1500倍	収穫21日前 まで					
オクラ	アブラムシ類 フタテンヒメコバハイ	1000倍	収穫開始7日前 まで	2回以内	2回以内			
ほうれんそう	アブラムシ類		収穫30日前 まで					
にんにく	ネギコガ アブラムシ類		収穫7日前 まで					
やまのいも	ジャガイモヒゲナガアブラムシ		収穫45日前 まで					
ばれいしょ	ヨトウムシ オオニジュウヤホシテントウ		1000～2000倍			収穫30日前 まで	2回以内	3回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後 は2回以内)
	アブラムシ類	300倍	25L/10a					

注: 「ぶどう」は登録内容の変更申請予定。

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。  
(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	ネキアザミウマ	1000~1500倍	100~300 L/10a	収穫21日前まで	5回以内	散布	5回以内
てんさい	ヨウムシ	300倍	25 L/10a	収穫45日前まで	3回以内		4回以内 (育苗期の灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	テンサイモグリハナバエ テンサイトビハムシ	1000倍	100~300 L/10a				
	テンサイトビハムシ	60~100倍	ペーパーホット1冊当り 1L (3L/m <sup>2</sup> )	育苗期	1回		
茶	チャノキイロアザミウマ チャノトリヒメコバエ チャノコカモンハマキ	1000~2000倍 1000~1500倍	200~400 L/10a	摘採45日前まで	散布	1回	
だいず	アブラムシ類 ハスモンヨトウ	1000倍	100~300 L/10a	収穫60日前まで		3回以内	3回以内
ごぼう	アブラムシ類			収穫45日前まで		1回	2回以内(株元散布は1回以内、 散布は1回以内)
あずき	ノメイガ類 アブラムシ類			収穫14日前まで		3回以内	3回以内
いんげんまめ	アブラムシ類						
たばこ	ヨウムシ タバコアオムシ アブラムシ類	1500~2500倍	25~180 L/10a	収穫10日前まで		2回以内	2回以内
つつじ類	ツツジゲンバイ	1500倍	200~700 L/10a	発生初期		5回以内	5回以内
つばき類	チャドクガ						
さくら	アメリカシロヒトリ	1500~2000倍					
	モンクロナヤチホコ	1000~1500倍					
ばら	アブラムシ類	1000倍					
	アザミウマ類						
きく	アブラムシ類 アザミウマ類	1000~1500倍	100~300 L/10a				
	マメハモグリハエ オオタバコガ						
花き類・観葉植物 (ばら、きくを除く)	アブラムシ類 アザミウマ類	1000倍	0.3L/m <sup>2</sup>				
芝	スジキリヨトウ シバツトガ				0.3~0.5 L/m <sup>2</sup>		
	タマナヤガ			0.3~1 L/m <sup>2</sup>			
	シバオサゾウムシ成虫						

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

②アセフェート50%水溶剤（「興農」ジェネレート水溶剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1000～1500倍	100～300 L/10a	収穫30日前まで	1回	散布	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)
はくさい		1500倍		収穫30日前まで			1回
ばれいしょ	アブラムシ類 オオニジュウヤホシテントウ	1000倍	収穫30日前まで	2回以内	3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)		
てんさい	ヨトウムシ テンサイトビハムシ	1000倍	100～300 L/10a	収穫45日前まで	3回以内	灌注	4回以内 (育苗期の灌注は1回以内、散布は3回以内)
	テンサイトビハムシ	60～100倍	ペーパーポット1冊当たり 1L (3L/m <sup>2</sup> )	育苗期	1回		
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～2000倍	200～400 L/10a	摘採45日前まで	1回	散布	1回
	チャノコカクモンハマキ	1000～1500倍					
たばこ	ヨトウムシ タバコアオムシ アブラムシ類	1500～2500倍	25～180 L/10a	収穫10日前まで	2回以内		

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
つばき類	チャトクガ	1500倍	200~700 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
さくら	アメリカシロヒトリ	1500~2000倍					
	モンクロシヤチホコ	1000~1500倍					
ばら	アブラムシ類						
きく	アブラムシ類 アザミウマ類	1000~1500倍	100~300 L/10a				
ゆり	アブラムシ類	1000倍	0.3L/m <sup>2</sup>				
芝	スジキリヨトウ シバツトガ		0.3~0.5 L/m <sup>2</sup>				
	タマナヤガ		0.3~1 L/m <sup>2</sup>				
	シバオサゾウムシ成虫						

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

③アセフェート5%粒剤 (ジェネレート粒剤、ジェイエース粒剤、スミフェート粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)
はくさい						
ブロッコリー	ヨトウムシ	6kg/10a (2g/株)			株元散布	
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3~4kg/10a	は種前		作条散布	
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫21日前まで		株元散布	
なばな		6kg/10a(2g/株)			土壌混和処理	1回
きゅうり	オンシツコナジラミ アブラムシ類 アザミウマ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時		作条散布 又は植穴処理	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ					
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ アザミウマ類					
ごぼう	アブラムシ類	3~6kg/10a	収穫75日前まで		株元散布	2回以内(株元散布は1回以内、散布は1回以内)
みずな		6kg/10a	定植時	作条散布後 土壌混和	1回	
ばれいしょ			植付時	作条散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)	
こまつな			は種前	作条散布後 土壌混和	1回	
チンゲンサイ			定植時			
花き類・観葉植物(きく、トルコキョウを除く)	アブラムシ類 アザミウマ類	1~2g/株(但し、9kg/10aまで) 2g/株(但し、9kg/10aまで)	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内
きく	アブラムシ類 アザミウマ類	6~9kg/10a 1~2g/株(但し、9kg/10aまで)				
	マメハモグリハエ	6~9kg/10a				
トルコキョウ	アブラムシ類 アザミウマ類	1~2g/株(但し、9kg/10aまで)				
つつじ類	ツツジグンバイ	2g/株				
たばこ	ヨトウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a	移植前	1回	作条散布後 土壌混和	2回以内

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
芝	スジキリヨトウ シバツカ	10kg/10a	発生初期	5回以内	全面散布	5回以内
	タマナヤガ	5～10kg/10a				

④アセフェート5%粒剤（「興農」ジェネレート粒剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理 は1回以内、定植 後の散布は1回以 内)
はくさい	アオムシ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり2g)				
	コナガ ヨトウムシ					
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前		作条散布	1回
きゅうり	オンシツコナジラミ アザミウマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時		作条散布 又は 植穴処理	
トマト	オンシツコナジラミ	6kg/10a (1株当たり2g)				
なす	アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり2g)				
ばれいしょ		3～6kg/10a	植付時	作条散布	3回以内 (植付時の処理は1 回以内、植付後は2 回以内)	



本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
たばこ	ヨウムシ	3～6kg/10a	移植前	1回	作条散布後 土壌混和	2回以内
ぼら	アブラムシ類	1株当たり 1～2g	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内
トルコギキョウ	アザミウマ類					
ゆり	アブラムシ類					
芝	スジキリヨトウ シバツトガ	10kg/10a			全面散布	
	タマナヤガ	5～10kg/10a				

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

## 2. 使用上の注意事項

ジェネレート水溶剤、「興農」ジェネレート水溶剤、ジェイエース水溶剤、スミフェート水溶剤

- (1) 散布液調製後速やかに使用すること。
- (2) てんさいに対して希釈倍数 300 倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用すること。
- (3) さくらの夏期高温時の散布は葉害を生ずる恐れがあるので避けること。
- (4) 本剤をてんさいの育苗期に灌注する場合、薬液が茎葉に残っていると葉害を生ずることがあるので、本剤を散布後薬液が残らないように軽く散水 (0.5L/m<sup>2</sup>) して除去すること。
- (5) ミツバチ、アブラバチなどを放飼する場合の使用は避けること。
- (6) 桑葉には散布液がかからないように注意すること。
- (7) 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

ジェネレート粒剤、「興農」ジェネレート粒剤、ジェイエース粒剤、スミフェート粒剤

- (1) 定植時に植穴処理をする場合は、苗質によっては土壌との混和処理が不十分な時に葉害を生ずるおそれがあるので、十分に薬剤と土壌を混和すること。
- (2) 降雨直後等土壌水分が極端に多い時の定植時植穴混和処理は、葉害を生ずるおそれがあるので避けること。
- (3) 芝に使用する場合、効果を安定させるために、本剤の所定量を散布後 10 アール当たり 500～1000L の散水を行うこと。
- (4) ミツバチ、アブラバチなどを放飼する場合の使用は避けること。
- (5) 桑葉にかからないように注意すること。
- (6) つまみ菜・間引き菜には使用しないこと。
- (7) 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 3. 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

ジェネレート水溶剤、「興農」ジェネレート水溶剤、ジェイエース水溶剤、スミフェート水溶剤

この登録に係る使用方法では該当がない。

ジェネレート粒剤、「興農」ジェネレート粒剤、ジェイエース粒剤、スミフェート粒剤

この登録に係る使用方法では該当がない。

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

## V. 農薬残留性及び環境中予測濃度算定関係

### 1. 作物残留

#### (1) 分析法の原理と操作概要

試料をアセトンで抽出し、アセトン留去後、多孔性ケイソウ土カラム、シリカゲルミニカラムで精製し、ガスクロマトグラフ(NPD、FPD-P)で定量する。

#### (2) 分析対象化合物

##### ① アセフェート

化学名； O,S-ジメチル-N-アセチルホスホロアミドチオエト

分子式 ;  $C_4H_{10}NO_3PS$

分子量 ; 183.17

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

(3)残留試験結果

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		(株) エスコ	
未成熟 とうもろこし  (露地)	粒剤 (5%)  6kg/10a	長野 南信	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	0.08	0.08	0.05	0.05
			2	21	0.02	0.02	0.02	0.02
			2	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
(生食用子実)  平成16年度	トップドレッシング	鹿児島	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01
			2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所		(株) エスコ	
未成熟 とうもろこし  (露地) (生食用子実)  平成 21 年度	水溶剤 (50%)	日植防 千葉	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	0.019	0.019	0.024	0.024
			2	14	0.008	0.008	0.008	0.008
			2	21	0.006	0.006	0.006	0.006
	1000 倍 200L/10a	岐阜 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	0.101	0.100	0.109	0.108
			2	14	0.044	0.044	0.043	0.042
			2	21	0.013	0.012	0.013	0.012
散布								

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アセフェート		アセフェート		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財) 残留農薬研究所		(株) エスコ		
未成熟 とうもろこし  (露地) (生食用子実)  平成 18 年度	A) 粒剤(5%) 6kg/10a 14日後 水和剤(50%) 1000倍 200L/10a	A 区	日植防 牛久	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				2	3	<0.01	<0.01	0.02	0.02
				2	7	0.02	0.02	0.02	0.02
				2	14	0.01	0.01	<0.01	<0.01
		B 区	石川 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				2	3	0.06	0.06	0.07	0.06
				2	7	0.10	0.10	0.05	0.05
				2	14	0.02	0.02	0.02	0.02
	B) 粒剤(5%) 6kg/10a 21日後 水和剤(50%) 1000倍 200L/10a	B 区	日植防 牛久	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				2	3	0.06	0.06	0.01	0.01
				2	7	0.10	0.10	0.02	0.02
				2	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01
		B 区	石川 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				2	3	0.06	0.06	0.04	0.04
				2	7	0.03	0.03	0.04	0.04
				2	14	<0.01	<0.01	0.02	0.02

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関			
					アセフェート			
					最高値	平均値		
					(財)残留農薬研究所			
いんげんまめ (露地) (乾燥子実)  平成 19 年度	水溶剤 (50%)  1000 倍	北海道 植防	0	—	<0.1	<0.1		
			3	7	<0.1	<0.1		
			3	14	<0.1	<0.1		
			3	21	0.1	0.1		
	200L/10a  散布	日植防 牛久	0	—	<0.1	<0.1		
			3	7	0.4	0.4		
			3	14	0.5	0.5		
			3	21	0.4	0.4		

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所		(株) エスコ	
えだまめ (露地) (さや)  平成19年度	水溶剤 (50%)	福島 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.11	0.10	0.14	0.14
			3	21	0.02	0.02	0.03	0.02
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1000倍 200L/10a  散布	兵庫 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.82	0.81	0.81	0.80
			3	21	0.04	0.04	0.14	0.12
			3	28	<0.01	<0.01	0.03	0.02



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		(株) エスコ	
あずき (露地) (乾燥子実)  平成19年度	水溶剤 (50%)  1000倍 200L/10a  散布	北海道 植防	0	—	<0.1	<0.1	<0.01	<0.01
			3	7	<0.1	<0.1	0.05	0.05
			3	14	0.2	0.2	0.10	0.10
			3	21	0.4	0.4	0.30	0.30
	滋賀 植防	0	—	<0.1	<0.1	<0.01	<0.01	
		3	7	0.3	0.3	0.22	0.20	
		3	14	0.4	0.4	0.37	0.36	
		3	21	0.4	0.4	0.31	0.30	

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		(株) エスコ	
あずき (露地) (乾燥子実)  平成20年度	水溶剤 (50%)	青森 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.16	0.16	0.14	0.14
			3	21	0.12	0.12	0.13	0.13
			3	28	0.05	0.05	0.01	0.01
			3	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1000倍 200L/10a 散布	新潟 農作物 センター	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.11	0.11	0.20	0.20
			3	21	0.14	0.14	0.18	0.18
			3	28	0.11	0.11	0.14	0.14
			3	42	0.03	0.02	0.02	0.02

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量は 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 口数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所		(株) エスコ	
だいず  (露地)  (乾燥子実)  平成 15 年度	水溶剤 (50%)  青森 180L/10a 新潟 300L/10a  1000 倍  散布	青森 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	56	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	63	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		新潟 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	42	0.02	0.02	0.01	0.01
			3	56	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	63	0.03	0.02	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所		全農センター・農産物 安全検査室	
ばれいしょ  (露地)  (塊茎)  平成 11 年度	水溶剤 (50%)  1000 倍  岩手 150L/10a 2 回 200L/10a 3 回	岩手 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
			5	3	0.16	0.16	0.062	0.062
			5	7	0.12	0.12	0.056	0.055
			5	14	0.05	0.04	0.024	0.024
	200L/10a 広島 200L/10a 生育期茎葉散布	広島 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
			5	3	0.21	0.20	0.083	0.080
			5	7	0.17	0.16	0.071	0.070
			5	14	0.11	0.11	0.067	0.065

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		(株)エスコ	
ばれいしよ (露地)  (塊茎)  平成16年度	水溶剤(50%) 粒剤(5%) (粒1回、水4回)  粒剤: 6kg/10a 植付時作条散布	北植防 札幌	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	水溶剤: 300倍 25L/10a 生育期茎葉散布	日植防 牛久	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	3	0.15	0.14	0.09	0.08
			5	7	0.13	0.13	0.10	0.10
			5	14	0.08	0.08	0.04	0.04

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又 は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所		株式会社 エスコ	
ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成8年度 (牛久) 平成9年度 (長野)	粒剤(5%)、水溶剤(50%) (粒1回、水4回)	日植防 牛久	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	0.48	0.46	0.34	0.31
			5	14	0.34	0.34	0.20	0.20
	粒剤6kg/10a、 植付時土壌混和 水溶剤1000倍200L/10a 生育期茎葉散布	長野 松代	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	0.08	0.08	0.10	0.10
			5	14	0.04	0.04	0.05	0.05

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 / GLP			
					分析施設名			
					アセフェート			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(株)化学分析コンサルタント			
ばれいしょ (露地)  (塊茎)  平成 23 年度	水和剤 (50%) 1000 倍 青森 150L/10a 鹿児島 175 L/10a 散布	青森 植防	0	—	<0.01	<0.01		
			2	7	0.01	0.01		
			2	14	<0.01	<0.01		
			2	21	<0.01	<0.01		
			2	28	<0.01	<0.01		
		鹿児島 植防	0	—	<0.01	<0.01		
			2	7	0.18	0.18		
			2	14	0.16	0.15		
			2	21	0.11	0.10		
			2	28	0.12	0.12		

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 / GLP			
					分析施設名			
					アセフェート			
					最高値	平均値		
					(株)化学分析コンサルタント			
ばれいしょ (露地)  (塊茎)  平成 23 年度	水和剤 (50%) 300 倍 茨城 25t/10a 高知 24.9 t/10a 散布	日植防 茨城	0	—	<0.01	<0.01		
			2	7	0.02	0.02		
			2	14	<0.01	<0.01		
			2	21	<0.01	<0.01		
			2	28	<0.01	<0.01		
		日植防 高知	0	—	<0.01	<0.01		
			2	7	0.30	0.30		
			2	14	0.18	0.18		
			2	21	0.20	0.18		
			2	28	0.21	0.20		



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分 析 結 果			
					公 的 分 析 機 関		社 内 分 析 機 関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物 安全検査室	
やまいも  (露地)  (塊茎)  平成 18 年度	水溶剤  (50%)  1000 倍  牛久 200L/10a 長野300L/10a  散 布	日植防 牛久	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			1	21	0.06	0.06	0.06	0.06
			1	28	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			1	42	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	21	0.29	0.28	0.36	0.33
			3	28	0.31	0.31	0.15	0.15
			3	42	0.24	0.24	0.30	0.29
		長 野 植 防	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			1	21	0.29	0.28	0.32	0.30
			1	28	0.27	0.26	0.37	0.36
			1	42	0.13	0.13	0.18	0.18
			3	21	0.99	0.94	1.40	1.40
			3	28	0.93	0.91	0.73	0.70
			3	42	0.95	0.94	1.07	1.01

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

灌注処理は苗床に1回、散布処理は生育期に3回散布。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法		試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果				
						公的分析機関		社内分析機関		
						アセフェート		アセフェート		
						最高値	平均値	最高値	平均値	
						(財) 残留農業研究所		(株) エスコ		
てんさい  (露地)  (根部)  ① 平成8年 ② 平成10年 ③ 平成13年	水	①	50倍 2.5L/m <sup>2</sup> 灌注*	北植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1000倍 150L/10a 散布	札幌	4	45	0.02	0.02	0.02	0.02
		50倍 2.5L/m <sup>2</sup> 灌注*	北植防	0	—	<0.01	<0.01			
				1500倍 150L/10a 散布 生育期4回散布	河東郡	4	45	<0.01	<0.01	
		②	50倍 2.5L/m <sup>2</sup> 灌注*			(財) 残留農業研究所		(株) エスコ		
				1000倍 150L/10a 散布	北海道 河東	0 4	— 45	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01
	③	溶剤  (50%)	50倍 2.5L/m <sup>2</sup> 灌注*			(財) 残留農業研究所		全農センター・農産物安全検査室		
				北海道 中央	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					4	35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					4	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					4	49	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				北海道 十勝	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
4					35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
4					42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
4	49	<0.01	<0.01		<0.01	<0.01				

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アセフェート		アセフェート		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室		
だいこん  (露地)             平成11年度	根部	水溶剤  (50%)	岐阜 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				2	7	0.21	0.21	0.17	0.16
				2	14	0.07	0.06	0.05	0.05
				2	21	0.02	0.02	0.01	0.01
			新潟 園芸	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				2	7	0.23	0.22	0.20	0.19
				2	14	0.08	0.08	0.07	0.06
				2	21	0.06	0.06	0.06	0.06
	葉部	1000倍  150L/10a  散布	岐阜 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				2	7	2.03	1.95	0.95	0.92
				2	14	0.09	0.08	0.03	0.03
				2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			新潟 園芸	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				2	7	29.3	29.3	31.8	29.4
				2	14	3.68	3.61	4.92	4.74
				2	21	1.64	1.63	2.86	2.52

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剂型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所		(株) エスコ	
だいこん (露地) 平成8年度	根部 粒剤(5%) 水溶剤(50%) (粒1回、水1回)	日植防 牛久	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	0.11	0.11	0.09	0.09
			2	21	0.06	0.06	0.04	0.04
		長野 中信	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	0.10	0.10	0.07	0.07
			2	21	0.06	0.06	0.04	0.04
	葉部 粒剤 4kg/10a 播種前作条処理 水溶剤 1000倍 150L/10a 生育期茎葉散布	日植防 牛久	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	2.78	2.76	2.84	2.80
			2	21	0.62	0.60	1.25	1.17
		長野 中信	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	2.22	2.22	2.19	2.07
			2	21	0.93	0.89	1.12	1.08

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 / GLP			
					分析施設名			
					アセフェート			
					最高値	平均値		
					(株)化学分析コンサルタント			
だいこん (露地) (根部)  平成 23 年度	粒剤 (5%)、水和剤 (50%) 体系処理 ①粒剤 4kg/10a、 1 回処理 播種前(当日)作条処理  ②水和剤 1500 倍 200l/10a 1 回処理 生育期散布	石川 植防	0	—	<0.01	<0.01		
			2	14	0.06	0.06		
			2	21	0.03	0.03		
			2	28	0.05	0.05		
		和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01		
			2	14	0.04	0.04		
			2	21	0.02	0.02		
			2	28	0.02	0.02		

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 / GLP			
					分析施設名			
					アセフェート			
					最高値	平均値		
					(株)化学分析コンサルタント			
だいこん (露地) (葉部)  平成 23 年度	粒剤 (5%)、水和剤 (50%) 体系処理 ①粒剤 4kg/10a、 1 回処理 播種前(当日)作条処理 ②水和剤 1500 倍 200l/10a 1 回処理 生育期散布	石川 植防	0	—	<0.01	<0.01		
			2	14	4.09	4.02		
			2	21	1.15	1.09		
			2	28	0.91	0.86		
		和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01		
			2	14	5.88	5.66		
			2	21	4.90	4.80		
			2	28	3.09	3.04		

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Simon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果								
					公的分析機関				社内分析機関				
					アセフェート				アセフェート				
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
													(株)株式会社 エスコ
つまみ菜 (露地) 平成8年度	粒剤 (5%)  4kg/10a	日植防 牛久	0	—					<0.01	<0.01			
			1	7					3.96	3.85			
		長野 中信	0	—						<0.01	<0.01		
			1	9						16.82	16.54		
間引き菜 (露地) 平成8年度	播種前 作条処理	日植防 牛久	0	—					<0.01	<0.01			
			1	14					0.24	0.24			
		長野 中信	0	—						<0.01	<0.01		
			1	19						0.80	0.78		

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分 析 結 果				
					公 的 分 析 機 関		社 内 分 析 機 関		
					アセフェート		アセフェート		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財) 残留農業研究所		全農センター・農産物安全検査室		
かぶ (施設)  平成 18 年度 (岐阜)  平成 19 年度 (日植防)	根  部	水溶剤  (50%)  1500 倍	日植防 牛久	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				1	7	0.18	0.18	0.17	0.16
				1	14	0.26	0.26	0.25	0.23
				1	21	0.10	0.10	0.10	0.10
			岐 阜 植 防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				1	7	0.11	0.11	0.19	0.18
	1	14		0.02	0.02	0.06	0.06		
	1	21		<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
	葉  部	牛久 250L/10a 岐阜 300L/10a  生育期 茎葉散布	日植防 牛久	0	-	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2
				1	7	8.7	8.5	6.6	6.5
				1	14	7.3	7.2	8.8	8.4
				1	21	3.2	3.2	3.6	3.6
岐 阜 植 防			0	-	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	
			1	7	6.7	6.4	7.7	7.4	
			1	14	3.7	3.7	4.3	4.2	
			1	21	1.3	1.2	3.3	3.1	



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		全農センター・農産物安全検査室	
かぶ (露地)  平成17年度	根 部      4kg/10a	滋賀 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	7	0.46	0.44	0.92	0.90
			1	14	0.24	0.24	0.33	0.30
			1	21	0.08	0.08	0.08	0.08
		口植防 宮崎	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	3	0.71	0.70	0.63	0.62
			3	7	0.26	0.26	0.23	0.23
			3	14	0.04	0.04	0.09	0.09
	葉 部	滋賀 植防	0	—	<0.1	<0.1	<0.01	<0.01
			1	7	3.3	3.2	5.93	5.82
			1	14	3.0	3.0	1.48	1.44
			1	21	0.5	0.5	0.65	0.62
		日植防 宮崎	0	—	<0.1	<0.1	0.02	0.02
			3	3	15.4	15.2	23.4	22.7
			3	7	10.5	10.2	12.2	1.21
			3	14	3.7	3.7	1.85	1.82

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所		(株) エスコ	
かぶ (施設)  平成 16 年度	根 部  水溶剤 (50%) 1500 倍	埼玉 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	0.49	0.48	0.56	0.56
			2	14	0.10	0.10	0.07	0.07
			2	21	0.02	0.02	<0.01	<0.01
		岐阜 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	0.19	0.18	0.13	0.12
			2	14	0.03	0.03	0.03	0.03
			2	21	0.01	0.01	0.01	0.01
	葉 部  150L/10a 生育期 茎葉散布	埼玉 植防	0	—	<0.1	<0.1	<0.01	<0.01
			2	7	6.0	5.8	12.8	12.4
			2	14	3.5	3.4	2.87	2.83
			2	21	0.4	0.4	<0.01	<0.01
		岐阜 植防	0	—	<0.1	<0.1	<0.01	<0.01
			2	7	28.2	28.0	28.3	26.8
			2	14	6.8	6.6	17.9	17.6
			2	21	14.1	13.9	10.8	10.4

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		(株)エスコ	
はくさい  (露地)  (茎葉)  平成9年度	水溶剤  (50%)	新潟 高冷	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	3	5.69	5.59	8.00	7.90
			3	7	2.77	2.70	2.52	2.36
			3	14	0.82	0.80	1.84	1.82
	1000倍 200L/10a  生育期茎葉散布	日植防 高知	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	3	1.65	1.62	3.80	3.76
			3	7	1.60	1.54	3.81	3.79
			3	14	2.18	2.14	0.79	0.76

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アセフェート		アセフェート		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財) 残留農業研究所		株式会社 エスコ		
はくさい (露地) (茎葉)  平成9年度	粒剤(5%) 水溶剤(50%)  1) 体系処理 (粒2回、水1回) 粒剤 6kg/10a (2g/株) 植穴土壌混和 及び 生育期葉面散布 水溶剤 1000 倍 200L/10a 生育期散布  2) 粒剤単用 6kg/10a (2g/株) 植穴土壌混和 及び 生育期葉面散布	新潟農 総 高冷	体系	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	14	0.34	0.34	0.50	0.48
				3	21	0.08	0.08	0.09	0.09
			単用	3	14	0.76	0.74	0.83	0.82
				3	21	1.34	1.29	1.25	1.24
				3	30	0.47	0.46	0.17	0.16
		日植防 高知	体系	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	14	1.86	1.82	1.22	1.18
				3	21	0.31	0.30	1.86	1.78
			単用	3	30	0.08	0.08	0.04	0.04
				3	14	1.88	1.84	5.96	5.82
				3	21	1.90	1.88	2.11	2.10
				3	30	0.64	0.63	0.97	0.94

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 / GLP			
					分析施設名			
					アセフェート			
					最高値	平均値		
					(株)化学分析コンサルタント			
はくさい (露地) (茎葉)  平成 23 年度	粒剤 (5%) 2g/株 定植時植穴処理及び 生育時株元散布	日植防 千葉	0	—	<0.01	<0.01		
			2	14	0.44	0.41		
			2	21	0.26	0.26		
			2	28	0.35	0.34		
		日植防 高知	0	—	<0.01	<0.01		
			2	14	0.22	0.22		
			2	21	0.09	0.09		
			2	28	0.06	0.06		

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 / GLP			
					分析施設名			
					アセフェート			
					最高値	平均値		
					(株)化学分析コンサルタント			
はくさい (露地) (茎葉)  平成 25 年度	粒剤 (5%) 2g/株 定植時植穴処理	青森植防	0	—	<0.01	<0.01		
			1	45	0.05	0.05		
			1	52	0.01	0.01		
			1	59	0.02	0.02		
		日植防 茨城	0	—	<0.01	<0.01		
			1	55	<0.01	<0.01		
			1	62	<0.01	<0.01		
			1	66	<0.01	<0.01		

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
キャベツ  (露地)  (葉球)  平成11年度	水溶剤  (50%)	新潟 園芸	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	3	0.57	0.57	0.30	0.27
			3	7	1.13	1.12	0.23	0.20
			3	14	0.07	0.06	0.05	0.04
	1000倍 200L/10a  散布	岐阜 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	3	0.17	0.16	0.16	0.16
			3	7	0.15	0.14	0.11	0.10
			3	14	0.08	0.08	0.05	0.05

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アセフェート		アセフェート		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財) 残留農薬研究所		(株) エスコ		
キャベツ (露地)  (葉球)  平成9年度	粒剤(5%) 水溶剤(50%) 1) 体系処理 (粒2回、水1回) 粒剤2g/株 植穴土壌混和及び生育期葉面散布 水溶剤1000倍 200L/10a(牛久) 250L/10a(宮崎) 生育期茎葉散布	日植防牛久	体系	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	14	0.61	0.59	0.67	0.66
				3	21	0.39	0.38	0.36	0.35
			3	30	0.20	0.19	0.14	0.14	
			単用	3	14	4.16	4.06	3.26	3.14
				3	21	2.68	2.64	2.45	2.28
	3	30		1.84	1.78	1.20	1.12		
	2) 粒剤単用 2g/株 植穴土壌混和及び生育期葉面散布	日植防宮崎	体系	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	14	0.34	0.34	0.41	0.40
				3	21	0.22	0.21	0.25	0.24
			3	30	0.13	0.12	0.11	0.10	
			単用	3	14	2.54	2.50	2.30	2.28
3				21	1.15	1.15	1.70	1.66	
3	30	1.02		1.01	1.18	1.16			



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アセフェート		アセフェート		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室		
キャベツ  (露地)  (葉球)  平成12年	粒剤(5%)、水溶剤(50%) (粒2回、水1回)  粒剤 2g/株 植穴土壌混和及び 生育期葉面散布	徳島 植防	体系	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	7	0.36	0.36	0.23	0.22
				3	14	0.46	0.45	0.24	0.24
				3	21	0.43	0.42	0.27	0.27
	水溶剤 1000倍 200L/10a 生育期茎葉散布	植防 宮崎	体系	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	7	2.70	2.68	1.54	1.44
				3	14	1.52	1.46	1.01	0.98
				3	21	2.02	2.00	1.26	1.23

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分) 希釈倍数 又は使用量使 用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経過 日数	分 析 結 果			
					公 的 分 析 機 関		社 内 分 析 機 関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
こまつな  (口植防施設) (埼玉露地)  (茎葉)  平成17年度	粒 剤 (5%)  6kg/10a	日植防 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	49	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	定植時 土壌混和	埼 玉 植 防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	15	6.10	5.84	6.62	6.46
			1	22	0.07	0.06	0.05	0.04
			1	29	0.03	0.03	0.03	0.02

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量使 用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分 析 結 果			
					公 的 分 析 機 関		社 内 分 析 機 関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
みずな (露地)  葉部  平成15年度	水溶剤  (50%)  1000倍	京 都 農総試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	7	2.26	2.14	1.36	1.34
			1	14	0.29	0.28	0.17	0.15
			1	21	0.10	0.10	0.10	0.10
			2	7	2.98	2.96	1.47	1.46
			2	14	0.52	0.50	0.40	0.38
			2	21	0.09	0.08	0.04	0.04
	200L/10a  散 布	広 島 農技セ	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	7	0.31	0.30	0.42	0.42
			1	14	0.18	0.18	0.14	0.14
			1	21	0.08	0.08	0.06	0.06
			2	7	1.91	1.90	1.94	1.94
			2	14	0.48	0.46	0.77	0.74
			2	21	0.50	0.49	0.55	0.54

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分 析 結 果			
					公 的 分 析 機 関			
					アセフェート			
					最高値	平均値		
					(財) 残留農薬研究所			
みずな  (露地) (葉部)  平成 19 年度	粒剤 (5%)  6kg/10a 定植時 作条土壌混和	奈 良 植 防	0	—	<0.1	<0.1		
			1	35	<0.1	<0.1		
			1	42	<0.1	<0.1		
			1	49	<0.1	<0.1		
		徳 島 農 支 援 セ ン タ ー	0	—	<0.1	<0.1		
			1	21	<0.1	<0.1		
			1	28	<0.1	<0.1		
			1	35	<0.1	<0.1		

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量使 用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		全農センター・農産物安全検査室	
チンゲンサイ  (施設)  (薬部)  平成 15 年度	水溶剤  (50%)  1000 倍	埼玉 農総研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	7	2.13	2.04	0.91	0.90
			1	14	0.31	0.31	0.37	0.36
			1	21	0.19	0.19	0.10	0.10
			2	7	1.85	1.82	1.19	1.14
			2	14	0.25	0.24	0.28	0.27
			2	21	0.11	0.11	0.12	0.11
	200L/10a  散布	兵庫 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	7	2.13	2.08	1.32	1.30
			1	14	1.95	1.90	0.66	0.65
			1	21	0.47	0.47	0.36	0.34
			2	7	2.91	2.91	1.76	1.76
			2	14	1.22	1.19	0.95	0.93
			2	21	0.64	0.62	0.23	0.20

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量使 用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経過 日数	分 析 結 果			
					公 的 分 析 機 関		社 内 分 析 機 関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
チンゲンサイ  (施設)  (茎葉)  平成 17 年度	粒 剤 (5%)  6kg/10a	埼 玉 植 防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	31	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	38	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	定植時 土壌混和	長 野 植 防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	33	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	40	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量使 用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経過 日数	分 析 結 果			
					公 的 分 析 機 関		社 内 分 析 機 関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
カリフラワー  (露地)  (花蕾)  平成 17 年度	水溶剤  (50%)	日植防 牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	1.74	1.68	1.59	1.57
			3	14	0.32	0.32	0.32	0.30
			3	21	0.22	0.22	0.15	0.15
	1000 倍 200L/10a  散 布	長 野 原 村	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.57	0.56	0.39	0.36
			3	14	0.11	0.11	0.18	0.18
			3	21	0.03	0.03	0.07	0.07

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所		全農センター・農産物安全検査室	
ブロッコリー (露地)  (花蕾)  平成 11 年度	水溶剤(50%) 1000 倍 群馬 200L/10a 牛久 139、174、 200L/10a 散布	日植防 牛久	0	—	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
			3	7	1.02	1.01	0.304	0.301
			3	14	0.23	0.23	0.077	0.076
			3	21	0.03	0.03	0.013	0.012
		群馬 園試	0	—	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
			3	7	1.28	1.22	0.134	0.127
			3	14	0.88	0.86	0.194	0.192
			3	21	0.25	0.24	0.105	0.102



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アセフェート		アセフェート		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室		
ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成17年度	粒剤(5%)水溶剤(50%)  1) 体系処理 (粒2回、水1回) 粒剤 2g/株 (9.5kg/10a) 植穴土壌混和及び 生育期株元散布	長野南信	体系	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	7	1.28	1.26	1.00	0.96
				3	14	0.19	0.19	0.14	0.14
			単用	3	21	0.05	0.05	0.02	0.02
				3	7	1.45	1.42	1.53	1.39
				3	14	0.32	0.32	0.34	0.32
	水溶剤 1000倍散布 200L/10a 生育期 茎葉散布  2) 粒剤単用 2g/株 (6.7kg/10a) 植穴土壌混和及び生 育期株元散布	日植防高知	体系	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	7	0.73	0.72	0.57	0.56
				3	14	0.68	0.68	0.56	0.55
			単用	3	21	0.23	0.22	0.26	0.26
				3	7	0.97	0.94	0.42	0.40
				3	14	0.34	0.34	0.29	0.28
3	21	0.18	0.17	0.04	0.04				

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果		
					社内分析機関		
					アセフェート		
					最高値	平均値	
					全農センター・農産物安全検査室		
ブロッコリー (露地) (花蕾)  平成11年度	粒剤(5%)水溶剤(50%)  1) 体系処理 (粒2回、水1回) 粒剤 2g/株 (6kg/10a) 植穴土壌混和及び 生育期株元散布	日 植 防 宮 崎	体系	0	—	<0.01	<0.01
				3	7	0.50	0.50
				3	14	0.55	0.52
				3	21	0.47	0.46
			単用	3	7	1.39	1.26
				3	14	1.07	1.01
				3	21	0.56	0.53
	水溶剤 1000倍 200L/10a 生育期茎葉散布  2) 粒剤単用 2g/株 (5kg/10a) 植穴土壌混和及び生 育期株元散布	埼 玉 植 防	体系	0	—	<0.01	<0.01
				3	7	3.13	3.06
				3	14	3.44	3.32
				3	21	0.34	0.34
			単用	3	7	0.40	0.39
				3	14	0.35	0.35
				3	21	0.14	0.14

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 / GLP	
					分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					(株)化学分析コンサルタント	
ブロッコリー (露地) (花蕾)  平成 25 年度	粒剤 (5%) 2g/株 (和歌山植防 9.5kg/10a) (日植防高知 6.7kg/10a)	和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01
			1	80	<0.01	<0.01
			1	87	<0.01	<0.01
			1	94	<0.01	<0.01
	定植時株元散布	日植防 高知	0	—	<0.01	<0.01
			1	62	<0.01	<0.01
			1	69	<0.01	<0.01
			1	76	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果	
					公的分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所	
なばな  (露地)  (葉部)  平成 15 年度	粒剤 (5%)  6kg/10a	福 岡 行橋市	0	-	<0.01	<0.01
			1	47	<0.01	<0.01
			1	55	<0.01	<0.01
			1	61	<0.01	<0.01
	定植時 株元処理	福 岡 前原市	0	-	<0.01	<0.01
			1	58	<0.01	<0.01
			1	65	<0.01	<0.01
			1	72	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
ごぼう (露地) (根部) 平成 17 年度	粒剤 (5%)	青森 畑作	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	75	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	90	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	6kg/10a 株元散布	宮崎	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	75	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	90	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
ごぼう  (露地)  (根部)       平成 19 年度	粒剤・水溶剤体系 粒剤(5%) 6kg/10a 株元散布	日植防 牛久	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	29	0.02	0.02	0.03	0.03
			2	44	0.01	0.01	0.02	0.02
			2	59	0.02	0.02	<0.01	<0.01
	水溶剤(50%) 1000倍 300L/10a 茎葉散布	群馬 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	粒剤・水和剤体系 粒剤(5%) 6kg/10a 株元散布 水和剤(50%) 1000倍 300L/10a 茎葉散布	日植防 牛久	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	29	0.02	0.02	0.04	0.04
			2	44	0.02	0.02	<0.01	<0.01
			2	59	0.01	0.01	0.01	0.01
		群馬 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
2			45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
2			60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
ごぼう  (露地)  (根部)  平18年度	水溶剤(50%) 1000倍 青森 150L/10a	青森 畑作	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	群馬 200L/10a 散布	群馬	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	60	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		全農センター・農産物安全検査室	
レタス (施設)  (茎葉)  平成12年度	水溶剤  (50%)	岩手 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	1.84	1.83	1.15	1.04
			3	14	0.93	0.92	0.49	0.47
			3	21	0.41	0.40	0.34	0.30
	1000倍 200L/10a  散布	長野 南信	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	2.52	2.50	1.17	1.10
			3	14	1.17	1.14	0.39	0.36
			3	21	0.70	0.69	0.19	0.18



本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果	
					社内分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					(株) エスコ	
サラダ菜  (施設)  (葉部)  平成 18 年度	水溶剤  (50%)  1000 倍 長野 300L/10a 愛知 150L/10a  散布	長野 原村	0	—	<0.01	<0.01
			3	7	4.09	4.08
			3	14	3.15	3.04
			3	21	0.15	0.14
			3	28	0.06	0.06
		愛知 農総試	0	—	<0.01	<0.01
			3	7	8.21	8.00
			3	14	1.11	1.05
			3	21	0.10	0.10
			3	28	0.01	0.01

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分 析 結 果	
					社 内 分 析 機 関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					(株)エスコ	
リーフレタス  (露地)  (葉部)  平成 18 年度	水溶剤 (50%)  1000 倍 長野 200L/10a 徳島 300L/10a	長 野 南 信	0	-	<0.01	<0.01
			3	7	10.8	10.2
			3	14	3.43	3.04
			3	21	0.05	0.05
			3	28	0.02	0.02
	散 布	徳 島 植 防	0	-	<0.01	<0.01
			3	7	4.37	4.34
			3	14	1.00	1.00
			3	21	0.03	0.03
			3	28	0.03	0.03

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
たまねぎ  (露地)  (鱗茎)  平成12年度	水溶剤  (50%)	長野 農総試	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	14	0.03	0.03	0.04	0.04
			5	21	0.02	0.02	0.03	0.03
			5	28	0.02	0.02	0.02	0.02
	1000倍 250L/10a  散布	兵庫 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	14	0.08	0.08	0.07	0.06
			5	21	0.12	0.12	0.09	0.09
			5	28	0.05	0.04	0.05	0.04

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果	
					社内分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					全農センター・農産物安全検査室	
たまねぎ (露地) (鱗茎)  平成 16 年度	水溶剤  (50%)  1000 倍  250L/10a  生育期散布	北海道 植防	0	—	<0.01	<0.01
			5	14	0.07	0.07
			5	21	0.08	0.08
			5	28	0.06	0.06
		日植防 牛久	0	—	<0.01	<0.01
			5	14	0.29	0.28
			5	21	<0.01	<0.01
			5	28	0.10	0.10
		長野 植防	0	—	<0.01	<0.01
			5	14	0.11	0.11
			5	21	0.09	0.08
			5	28	0.04	0.04
		日植防 宮崎	0	—	<0.01	<0.01
			5	14	0.06	0.06
			5	21	0.04	0.04
			5	28	0.02	0.02

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果	
					公的分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所	
にんにく  (露地)  (鱗茎)  平成17年度	水溶剤  (50%)	青森畑作園	0	—	<0.01	<0.01
			3	7	0.07	0.06
			3	14	0.03	0.03
			3	21	0.02	0.02
	1000倍 200L/10a  散布	岩手植防	0	—	<0.01	<0.01
			3	7	0.03	0.03
			3	14	0.03	0.02
			3	21	0.02	0.02

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所		(株) エスコ	
トマト  (施設)  (果実)  平成8年度	水溶剤  (50%)	長野 南信	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.64	0.64	0.59	0.58
			3	3	0.75	0.74	0.78	0.78
			3	7	0.91	0.89	0.74	0.71
	1000倍 200L/10a  散布	和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.28	0.28	0.36	0.34
			3	3	0.32	0.30	0.32	0.31
			3	7	0.34	0.33	0.44	0.40

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果	
					社内分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					全農センター・農産物安全検査室	
トマト (施設) (果実)  平成12年度	水溶剤  (50%)  1000倍	石川 植防	0	—	<0.01	<0.01
			3	1	0.18	0.17
			3	7	0.12	0.12
			3	14	0.10	0.10
			3	21	0.07	0.06
	200L/10a  散布	岐阜 植防	0	—	<0.01	<0.01
			3	1	0.31	0.29
			3	7	0.83	0.80
			3	14	0.17	0.17
			3	21	0.13	0.12

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量は 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所		(株)4 エスコ	
トマト  (施設) (果実)  平成8年度	粒剤(5%)  2g/株	群馬 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.07	0.06	0.01	0.01
			3	3	0.03	0.03	0.02	0.02
			3	7	0.02	0.02	0.02	0.02
	株元散布	和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.09	0.09	0.08	0.08
			3	3	0.10	0.10	0.11	0.11
			3	7	0.13	0.12	0.12	0.11



本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果	
					社内分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					全農センター・農産物安全検査室	
トマト (施設) (果実)  平成12年度	粒剤(5%)  粒剤2g/株	石川 植防	0	—	<0.01	<0.01
			3	1	0.04	0.04
			3	7	0.06	0.06
			3	14	0.08	0.08
			3	21	0.06	0.06
	生育期株元散布	岐阜 植防	0	—	<0.01	<0.01
			3	1	0.03	0.03
			3	7	0.01	0.01
			3	14	0.01	0.01
			3	21	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		全農センター・農産物安全検査室	
トマト (施設) (果実) 平成 21 年度	粒剤 (5%) 2g/株 定植時植穴 処理	群馬 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	65	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		石川 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	73	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		(株)エスコ	
ミニトマト (施設) (果実)  平成16年度	水溶剤  (50%)  1000倍	長野 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	1	0.75	0.73	0.68	0.66
			1	7	0.22	0.22	0.28	0.28
			1	14	0.25	0.24	0.22	0.21
			3	1	1.92	1.86	2.21	2.19
			3	7	0.82	0.80	0.55	0.54
			3	14	0.46	0.46	0.47	0.46
	200L/10a  散布	徳島 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	1	0.42	0.41	0.24	0.24
			1	7	0.38	0.38	0.29	0.28
			1	14	0.38	0.37	0.16	0.16
			3	1	0.79	0.79	0.70	0.68
			3	7	1.08	1.05	0.90	0.82
			3	14	0.90	0.86	0.67	0.64

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分 析 結 果	
					公 的 分 析 機 関	
					アセフエート	
					最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所	
ミニトマト  (施設)  (果実)  平成 18 年度	水溶剤  (50%)  1000 倍 岩手 300L/10a 高知 200L/10a	岩 手 植 防	0	-	<0.01	<0.01
			3	7	0.91	0.90
			3	14	0.62	0.60
			3	21	0.55	0.53
			3	28	0.29	0.29
	散布	日植防 高 知	0	-	<0.01	<0.01
			3	7	2.09	2.00
			3	14	1.48	1.45
			3	21	1.17	1.14
			3	28	0.67	0.67

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経過 日数	分 析 結 果			
					公 的 分 析 機 関		社 内 分 析 機 関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		(株) エスコ	
ミニトマト (施設)  (果実)  平成 16 年度	粒 剤  (5%)  2g/株  1 回 処 理 定植時植穴処理  3 回 処 理 定植時植穴処理及 び 生 育 期 株 元 処 理 2 回	石 川 植 防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	82	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	88	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	95	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.04	0.04	0.03	0.03
		日 植 防 宮 崎	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	50	0.08	0.08	0.05	0.05
			1	56	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	63	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.46	0.44	0.41	0.38
			3	7	0.53	0.52	0.49	0.48
			3	14	0.47	0.46	0.55	0.55

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果	
					公的分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所	
ミニトマト  (施設)	粒剤 (5%)  2g/株 定植時植穴	岩手 植防	0	—	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01
			3	28	<0.01	<0.01
平成18年度  (果実)	定植時植穴 処理1回  生育時株元 処理2回	日植防 宮崎	0	—	<0.01	<0.01
			3	7	0.13	0.13
			3	14	0.08	0.08
			3	21	0.08	0.08
			3	28	0.09	0.08

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
ピーマン  (施設)  (果実)  平成 17 年度	粒 剤(5%)  2g/株	日植防 高知	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.42	0.41	0.48	0.48
			3	7	0.49	0.48	0.49	0.49
			3	14	0.25	0.24	0.25	0.24
	定植時植穴処理 及び 生育時株元処理	日植防 宮崎	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.03	0.03	0.04	0.04
			3	7	0.06	0.06	0.07	0.07
			3	14	0.06	0.06	0.07	0.07

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
ピーマン  (施設)  (果実)  平成 19 年度	粒剤 (5%)	日植防 高知	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.26	0.26	0.21	0.21
			3	3	0.25	0.24	0.22	0.22
			3	7	0.21	0.21	0.20	0.19
			3	14	0.06	0.06	0.10	0.10
			3	28	0.01	0.01	0.02	0.02
			3	35	<0.01	<0.01	0.01	0.01
	2g/株 生育時 株元散布	日植防 宮崎	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.28	0.28	0.31	0.31
			3	3	0.27	0.26	0.35	0.34
			3	7	0.09	0.09	0.13	0.12
			3	14	0.02	0.02	0.02	0.02
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01



本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 / GLP	
					分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					(株)化学分析コンサルタント	
ピーマン  (施設)  (果実)  平成 25 年度	粒剤 (5%)  2g/株 定植時植穴処理	日植防 高知	0	—	<0.01	<0.01
			1	42	0.11	0.10
			1	49	0.02	0.02
			1	56	<0.01	<0.01
		日植防 宮崎	0	—	<0.01	<0.01
			1	42	0.78	0.76
			1	49	0.23	0.22
			1	56	0.08	0.08

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		(株)エスコ	
なす (施設) (果実)  平成8年度 (群馬) 平成9年度 (沖縄)	水溶剤  (50%)  1000倍	群馬 植防	0	—	0.03	0.03	0.01	0.01
			3	1	3.45	3.43	3.06	2.71
			3	3	3.72	3.56	2.10	1.92
			3	7	2.58	2.56	1.27	1.22
			3	14	0.80	0.76	1.11	1.08
	200L/10a  散布	沖縄 防除所	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.96	1.92	3.00	2.78
			3	3	1.93	1.86	2.44	2.16
			3	7	1.96	1.90	1.70	1.68
			3	14	0.56	0.54	0.56	0.54

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アセフェート		アセフェート		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財) 残留農業研究所		全農センター・農産物安全検査室		
なす (施設) (果実)  平成11年度	粒剤(5%) 水溶剤(50%)  1)体系処理 (粒1回、水2回) 粒剤 2g/株 生育期株元散布 水溶剤 1000倍 200L/10a(長野) 250L/10a(岐阜) 散布	長野南信	体系	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	1	1.17	1.16	0.75	0.69
				3	3	0.72	0.71	0.74	0.74
				3	7	0.38	0.38	0.35	0.32
			単用	3	1	0.09	0.08	0.62	0.61
				3	3	0.09	0.08	0.06	0.06
				3	7	0.04	0.04	0.03	0.03
	2) 粒剤単用 2g/株、 生育期株元散布	岐阜植防	体系	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	1	0.98	0.94	0.74	0.68
				3	3	0.71	0.69	0.47	0.40
				3	7	0.32	0.31	0.40	0.39
			単用	3	1	0.05	0.05	0.02	0.02
				3	3	0.03	0.03	0.04	0.04
				3	7	0.03	0.03	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 / GLP	
					分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					(株)化学分析コンサルタント	
なす  (施設)  (果実)  平成 25 年度	粒剤 (5%)  2g/株 定植時植穴処理	日植防 高知	0	—	<0.01	<0.01
			1	71	<0.01	<0.01
			1	78	<0.01	<0.01
			1	85	<0.01	<0.01
		日植防 宮崎	0	—	<0.01	<0.01
			1	42	0.01	0.01
			1	49	<0.01	<0.01
			1	56	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
きゅうり  (施設)  (果実)  平成11年度	粒剤(5%)  2g/株	長野 南信	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.08	0.08	0.04	0.04
			3	3	0.05	0.04	0.03	0.02
			3	7	0.03	0.03	0.01	0.01
	株元散布	岐阜 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.27	0.27	0.13	0.12
			3	3	0.20	0.19	0.20	0.20
			3	7	0.10	0.10	0.05	0.04

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農業研究所		全農センター・農産物安全検査室	
きゅうり (施設) (果実) 平成21年度	粒剤(5%) 2g/株 定植時植穴 処理	群馬 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	47	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		石川 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	55	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所		全農センター・農産物安全検査室	
ほうれんそう  (施設)  (茎葉)  平成 18 年度	水溶剤 (50%)  1000 倍 岩手 150L/10a  牛久 100~150L/10a  散布	岩手 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			1	14	7.70	7.58	5.42	5.41
			1	21	0.99	0.98	1.20	1.18
			1	28	0.13	0.12	0.02	0.02
	日植防 牛久	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
		1	14	12.4	12.1	10.1	10.0	
		1	21	2.90	2.80	1.90	1.86	
		1	28	0.30	0.28	0.22	0.21	

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果	
					公的分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					(財) 残留農業研究所	
オクラ  (施設)  (果実)  平成18年度	水溶剤  (50%)	岐阜 植防	0	—	<0.04	<0.04
			1	3	2.50	2.37
			1	7	1.70	1.64
			1	14	0.38	0.38
	1000倍 200L/10a  散布	日植防 高知	0	—	<0.04	<0.04
			1	3	0.69	0.68
			1	7	0.26	0.26
			1	14	0.07	0.07



本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所		(株) エスコ	
ぶどう (施設) (果実)  平成 10 年度 (長野) 平成 12 年度 (三重)	水溶剤 (50%) 1500 倍 長野 300L/10a 三重 350L/10a 散布	長野 中信 (巨峰)	0	—	<0.01	<0.01	0.04	0.04
			2	21	1.13	1.13	1.29	1.28
			2	28	0.88	0.88	1.30	1.28
			2	42	0.68	0.67	1.53	1.48
		三重 農技セ (デラウエア)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	21	1.54	1.54	1.54	1.51
			2	28	1.10	1.08	1.12	1.04
			2	42	1.29	1.25	1.52	1.49

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 / GLP	
					分析機関	
					アセフエート	
					最高値	平均値
					(株)化学分析コンサルタント	
ぶどう  (施設)  (果実)  平成 24 年度	水和剤(50%) 1500 倍 長野 300t/10a 山梨 302 t/10a 散布	長野植防 須坂 (巨峰)	0	—	<0.01	<0.01
			1	30	0.86	0.81
			1	45	0.99	0.98
			1	59	0.31	0.31
		日植防 山梨 (デラウェア)	0	—	<0.01	<0.01
			1	29	0.78	0.76
			1	44	0.55	0.54
			1	59	0.11	0.11

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント	
ぶどう (施設) (果実)  平成19年度	水和剤 (50%) 1500倍 400L/10a 散布	石川 植防 (テラウエア)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	30	1.11	1.10	1.78	1.74
			2	45	0.55	0.54	1.10	1.09
			2	59	0.56	0.54	0.30	0.30

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アセフェート		アセフェート	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		全農センター・農産物安全検査室	
かき (露地)  (果実)  平成13年度 (福島、岐阜)  平成14年度 (和歌山)	水溶剤  (50%)	福島 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	28	1.33	1.33	0.89	0.88
			2	42	0.61	0.60	0.43	0.40
			2	56	0.49	0.48	0.33	0.32
	1000倍  300L/10a	岐阜 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	28	1.03	1.02	1.20	1.12
			2	42	0.21	0.20	0.62	0.62
			2	56	0.17	0.16	0.10	0.10
散布	和歌山 植防	0	-			<0.01	<0.01	
		2	28			1.16	1.14	
		2	43			0.37	0.34	
		2	57			0.08	0.08	

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 / GLP	
					分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					(株)化学分析コンサルタント	
かき (露地) (果実)  平成 24 年度	水和剤 (50%) 1500 倍 450C/10a 散布	日植防 山 梨	0	—	<0.01	<0.01
			2	28	0.03	0.03
			2	42	0.03	0.03
			2	59	<0.01	<0.01
		和歌山 植 防	0	—	<0.01	<0.01
			2	28	0.19	0.18
			2	42	0.11	0.11
			2	58	0.04	0.04

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回 数	経過 日数	分析結果	
					公的分析機関	
					アセフェート	
					最高値	平均値
					(財) 残留農薬研究所	
いちじく  (露地)  (果実)  平成 16 年度	水 溶 剤  (50%)	愛 知 農 総 試	0	-	<0.01	<0.01
			1	21	0.14	0.14
			1	30	0.05	0.05
			1	45	0.01	0.01
	2000 倍	兵 庫 農 技 セ	0	-	<0.01	<0.01
			1	21	0.17	0.16
			1	30	0.05	0.05
			1	45	0.02	0.02
	300L/10a  散 布	和 歌 山 か き も も	0	-	<0.01	<0.01
			1	21	0.04	0.04
			1	30	0.02	0.02
			1	45	<0.01	<0.01

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アセフェート		アセフェート		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財) 残留農薬研究所		(株) エスコ		
茶 (被覆) (荒茶、浸出液)  平成8年度	水溶剤 (50%)  1000倍  200L/10a  散布	神奈川	荒茶	0	—	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
				2	14	37.0	35.2	50.1	45.4
				2	21	8.71	8.54	11.0	9.94
				2	30	2.86	2.81	3.79	3.52
		津久井	浸出液	0	—	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
				2	14	30.2	29.7	33.3	32.6
				2	21	7.25	6.95	7.96	7.84
				2	30	1.16	1.14	3.84	3.64
	宮崎	荒茶	0	—	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	
			2	14	11.8	11.7	9.41	9.26	
			2	21	1.85	1.79	2.54	2.12	
			2	30	0.12	0.12	0.19	0.18	
		浸出液	0	—	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	
			2	14	7.83	7.55	4.18	4.14	
			2	21	1.12	1.06	1.01	0.98	
			2	30	0.05	0.05	0.20	0.19	

本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アセフェート		アセフェート		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財) 日本食品分析センター		(株) 化学分析コンサルタント		
茶 露地 (摘採10日 前より寒冷紗 簡易被覆)  平成22年度	水和剤 (50%)  1000倍 400L/10a  散布	福岡 八女	荒茶	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	45	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	60	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	74	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			浸出液	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	45	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	60	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	74	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
		鹿児島 大隅	荒茶	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	45	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	60	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	75	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			浸出液	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	45	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	60	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	75	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05



本頁に記載された情報に係る権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果		
					社内分析機関		
					アセフェート		
					最高値	平均値	
					(株) エスコ		
たばこ  (露地)  (中葉、上葉)  平成9年度	水溶剤 (50%) 1500倍 盛岡 180L/10a 鹿児島 150L/10a 散布	盛岡	中葉	0	—	<0.01	<0.01
			葉	1	10	<0.01	<0.01
			上葉	0	—	<0.01	<0.01
			葉	1	10	<0.01	<0.01
		鹿児島	中葉	0	—	<0.01	<0.01
			葉	1	10	0.02	0.02
			上葉	0	—	<0.01	<0.01
			葉	1	10	<0.01	<0.01

盛岡: 盛岡葉たばこ技術センター、鹿児島: 鹿児島葉たばこ技術センター葉たばこ技術センター

本頁に記載された情報に係わる権利及び内容の責任は丸紅株式会社、Sinon Corporation 及び全国農業協同組合連合会にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製場所		使用回数	経過日数	分析結果	
						社内分析機関	
						アセフェート	
						最高値	平均値
						株式会社 エスコ	
たばこ  (露地)  (中葉、上葉)  平成9年度	粒剤 (5%)  移植7日前 6kg/10a 作条処理 土壌混和	栃木	中葉	0	—	<0.01	<0.01
			葉	1	87	<0.01	<0.01
			上葉	0	—	<0.01	<0.01
			葉	1	104	<0.01	<0.01
		鹿児島	中葉	0	—	<0.01	<0.01
			葉	1	91	<0.01	<0.01
			上葉	0	—	<0.01	<0.01
			葉	1	105	<0.01	<0.01

栃木: 葉たばこ研究所技術センター、鹿児島: 鹿児島葉たばこ技術センター